



佐原の奥行きを魅せる

Show the depth of Sawara.

— 佐原 2010 盆ふえすた —

—"Bon-Festa 2010" in Sawara—

text_sakuraba

8月13日から15日の3日間、千葉県香取市佐原の歴史的な町並みにおいて、灯りのイベントが開催されました。昨年同様、お盆の帰省期間に合わせて開催され、多くの家族連れ、観光客で賑わいました。

The light-up event was held on August 13th to 15th in historical district in Sawara, Katori-City. Many families and tourists enjoyed it.



▲宿泊させていただいた古民家ギャラリー「十六」前にて



浄土寺ライトアップ



text_muramoto

盆ふえすたを一言で表現すると「疾風怒涛」でした。あれやこれやと日々忙殺されるがままに本番を迎えてしまいました。が、そこは本番に強い佐原プロジェクト (自称)。持前の底力と市役所の方々、おかみさん会、地元住民の方々の多大な協力の甲斐もあり、地元・観光客を問わず、来て下さった方々からお褒めの言葉をいただきました。

しかし、このイベントを通じて向けられた下新町への「目」や下新町の皆様との「絆」を今後のプロジェクト活動に活かし、佐原における下新町の存在をより高めてこそ、このイベントをやった意味がある、というものです。今年度後期も、まちづくりサロンや建物公開などさまざまな活動の場が用意されているので、精力的に活動していきたいです！

まちづくり大学院、修論審査会！

The final defense of master's thesis



▲審査会で発表中の小林さん

7月31日、東大まちづくり大学院の修論審査会が行われ、当研究室の小林洋平さんが発表しました。論文題目は「新宿副都心計画の経緯と評価に関する研究—総合的計画の再計画に向けて—」

修了式は9月27日(月)に行われます。

速報! **Congratulation!**

釜山国際建築デザインコンペ
最優秀賞!

Best prize! Busan international architectural design competition

8月20日から24日、韓国釜山市にて国際建築デザインコンペが開催されました。都市デザイン研から窪田准教授とM1 李峰浩君、空間計画研からM1 金令牙さんが参加し、見事、最優秀賞に輝きました！

受賞者コメント等は次号で掲載いたします！

プロジェクト報告

2プロジェクト始動！

Two projects start!

この夏、新たに2つのプロジェクトが始動しました。鹿児島は新規対象地です！



鹿児島プロジェクト KAGOSHIMA-project

D1 ウィチエンプラデイト・ポンサン

8月7日、新結成の鹿児島プロジェクトチーム（阿部助教／D1 ポンサン／M1 山重／M1 吉田）が鹿児島へ向かいました。鹿児島市のまち巡り推進事業の一環として、鹿児島中央駅から天文館、その周辺エリアまでの回遊性について再考する計画です。

今回の第1回現地調査は、地元の女子大学生による事前調査報告会から始まり、まち歩き、

ブレインストーミング、商店街の空き店舗調査、主要観光施設へのアクセス調査、まちづくり関係の各主体の方々のヒアリング調査を経て、最終日の11日に市職員との意見交換会が行われました。10月の第2回現地調査では回遊性に関する提案のたたき台を現地に持ち寄り、最終報告会（1月）に向けて実現性の高いものに磨いていく予定です。

初日に桜島の火山灰が大量に舞い、3日目には台風が接近して大荒れと、天気が目まぐるしく変わる鹿児島市に滞在して最も感じたことは自然の偉大さ。都市のことを考える者はやはり自然のことを忘れてはなりません。



▲鹿児島市の市街地と桜島



▲市職員との意見交換会（最終日）



▲農家を訪問する新高山メンバー



高山プロジェクト TAKAYAMA-project

M2 黒川 佑人

M1を新たに迎え、ようやく始動した高山プロジェクト。今年度は、「持続可能な農山村集落とは？」を考え、住民の方々と議論し、最終的には持続可能な集落マネジメント計画を提案するというものです。

さっそく、8月17日から21日にかけて夏真っ盛りの高山へ調査に行き、住民の方々とワークショップなどを行なったことで、昨年度は見えてこなかった農山村集落の実像を掴むことができました。

「鉄は熱いうちに打て」ということで、最終的な提案をイメージしつつも、今回の調査で得た成果をいかに今後活かしていくかを議論していきたいと思います。

復活！社会科見学部

今も進化する、お台場！

Social studies field trip in Odaiba



vol.54 以来となるデザイン研社会科見学部。今回は、夏のお台場、フジテレビ社屋です。



▲スタジオの天井の高さに圧倒される編集部メンバー

8月19日、社会科見学部でフジテレビに行ってきました。フジテレビといえば丹下健三先生の作品です。興味津々で、球体展望台・スタジオ・倉庫・報道局・アナウンス室など隅々まで見学してきました。

印象的だったのは、2つのタワーをつなぐコリドール。そこではまるで宙に浮いているような感覚と、東京湾の風景が楽しめます。また、展示やカフェ、休憩スペースなど多様な用途に使用され、おもしろい空間となっていました。しかし、当初はポスター1枚貼るのも禁止されていたそう。丹下先生の並々ならないこだわりが伺えます。

オフィス・制作現場・エンターテインメントの交錯するフジテレビには、独特のおもしろさがあります。お台場合衆国の開催もあって、この日も多くの方が訪れていました。もともと都の誘致で移転した経緯から、臨海副都心まちづくり協議会にも参加し、お台場の活性化に貢献しているそうです。隣接地では、フジテレビも参加している複合施設が建設中でした。

建物も、会社の裏側も、こうなっているんだ！と驚くことばかり。とても楽しい2時間の見学でした。お忙しい中案内して下さいました鈴木さんのお父さん、ありがとうございました！



▲隣接地の複合ビル建設現場

展示会：柏ビレジの未来を描く
Urban Design Partners balloon

Information



開催期間：8/2(月)～9/4(土) 11:00～16:00
開催場所：柏ビレジコミュニティスペース「はなみずき」
(木曜・日曜・祝祭日は休み)
特別イベント：8/29(日)「こども達が描く未来のクルマ」
お問い合わせ：balloon 代表 鈴木亮平 ryohei@tanacar.co.jp

9月の予定

9月3日 太田PJ「モノ・マチ」スクール
9月9～11日 日本建築学会大会@富山

✦ 編集後記

櫻庭 敬子

先日、青森県弘前市を訪れました。8月頭のねぶた祭りの熱狂を境に北国の短い夏は終わります。農家の人々は、お盆が明けると雪が振るまでりんごや米の収穫に朝早くから働き通し。気付いたら、ではなく、日々の生活そのものから季節の変化を体感していくのです。祭りのエネルギーや先祖を大切にする気持ちと、「農」との関係が深いものであることも実感します。登山で訪れた八甲田では、秋の深い空の下、とんぼが飛び交い、ほんのり色づいた木の葉も見られ、一足早く秋を見つけてきました。